

# 社会貢献活動



建設会社として、地域社会とのコミュニケーションは施工を円滑に進めるうえでも大切です。それだけに止まらず、地域に根差す企業として全国各地の地域交流や貢献活動に積極的に取り組み、自然環境の保全も含め、安心して快適に住み続けられるまちづくりに貢献します。



3 袖ヶ浦市臨海地区清掃活動



1 みやぎスマイルポート・プログラム



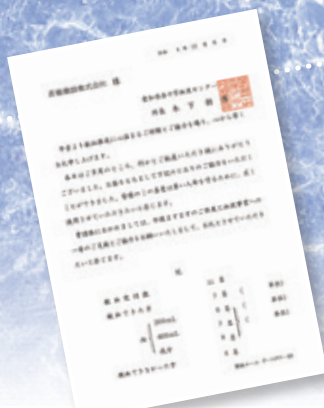
4 荒川水辺サポーター



2 千葉港海岸清掃ボランティア



5 東京湾大感謝祭



6 献血活動

宮城県 1 東北支店

## みやぎスマイルポート・プログラム

宮城県が、ボランティア活動に意欲を持つ団体を「スマイルサポーター」に認定し、港湾や海岸を定期的に清掃や美化活動を行う制度です。当社はこの活動に継続的に参加しています。

千葉県 2 千葉支店

## 千葉港海岸清掃ボランティア

千葉港海岸（検見川の浜）の清掃ボランティア活動を毎年行っています。

千葉県 3 技術研究所

## 袖ヶ浦市臨海地区清掃活動

技術研究所では、袖ヶ浦市臨海地区の散乱ごみ問題への対応として、周辺各社と協力の上、年数回、地域清掃ボランティアを行っています。

東京都 4 東京支店

## 荒川水辺サポーター

緊急河川敷道路にかかる本木自然地全体のゴミ拾いと、除草を行いました。

東京都 5 東京支店

## 東京湾大感謝祭

「東京湾大感謝祭2022 -SDGs東京湾-」に、ハイブリッドシステムを搭載した環境配慮型のグラブ浚渫船兼起重機船「若鷲丸」の稼働模型を出展しました。

愛知県 6 名古屋支店

## 献血活動

コロナ禍における輸血用血液の確保に向けて協力依頼があり、支店勤務職員が献血を行いました。



7 除雪作業



10 和白干潟アオサ清掃



8 「アドプト・シーサイド・堺浜」清掃活動



11 北九州ゆめみらいワーク2023



9 北九州マラソン



12 みんなの水辺サポート

愛媛県 7 松山営業所  
除雪作業

西日本高速道路株式会社から依頼のあった、除雪作業の支援を行ったことに対して感謝状をいただきました。

大阪府 8 大阪支店  
「アドプト・シーサイド・堺浜」清掃活動

地域貢献の一環として、堺浜自然再生ふれあいビーチの粗大ごみや空き缶等の回収を実施しました。

福岡県 9 九州支店  
北九州マラソン

北九州マラソンは北九州市の市制50周年を記念して2014年に開始されました。

当社はサポーターズスポンサーとして、毎年協賛及び沿道応援を行っています。

福岡県 10 九州支店  
和白干潟アオサ清掃

九電商友会が開催している社会貢献活動で、当社は毎年参加しています。福岡市東区和白干潟をおよそ2時間かけてアオサ清掃しました。

福岡県 11 九州支店  
北九州ゆめみらいワーク2023

北九州市の主催で、高校生・中学生に、仕事や大学の研究について直接話を聞き、体験できるイベントが開催されました。

学生の職業観の醸成と、就職意識向上につなげるこのイベントに出展し、当社の魅力を伝えました。

鹿児島県 12 鹿児島営業所  
みんなの水辺サポート

鹿児島県管理河川・海岸の清掃美化活動を行う「みんなの水辺サポート」に登録し、平川海岸地区の清掃活動を行っています。

## 旦過市場商店街への義援金贈呈

旦過市場は、北九州市小倉北区魚町にある北九州の台所と呼ばれる市場です。旦過市場では、建物の老朽化とそれに起因する災害を克服するために再整備事業が進められており、当社はECI方式で発注された本事業の優先交渉権者として携わっています。

ECI方式とはアーリーコントラクターインボルブメント方式の略で、プロジェクトの設計段階より施工者（建設会社）の技術力を設計内容に反映させることで「コスト縮減」や「工期短縮」を目的とした方式です。

旦過地区再整備事業により、旦過市場の横を流れる神嶽川の河川改修および土地区画整理事業を一体的に整備することで、河川の浸水対策や、建物の老朽化・密集化などの防災面の課題を解決できます。敷地面積は約2,800㎡で、建物構造が鉄骨造4階建、1階から2階に店舗が約80区画、3階から4階が約150台分の駐車場になる計画です。



再整備後のイメージ

そのような中、2022年4月ならびに8月に大規模な火災が発生し、市場は大きな被害を受けました。再整備事業に携わる企業として何かお手伝いできないかと思案し、旦過市場の「賑わい」活動にお役立ていただきたく「旦過市場商店街義援金窓口」に協力をいたしました。

義援金は、火災により発生した瓦礫の撤去後の更地の一部にレンガを敷設した「タンガレンガ広場」のオープンに役立てられ、被災した4店舗が営業しています。



義援金贈呈式



整備された「タンガレンガ広場」

## 名誉総裁賞(公益社団法人日本水難救済会)の受賞について

当社は、公益社団法人日本水難救済会が実施している「青い羽根募金活動」に、多年にわたり全社をあげて協力してきた功績が認められ、2023年6月9日に海運クラブで開催された「令和5年度名誉総裁表彰式典」において、名誉総裁賞のひとつである事業功労表彰を受賞し、同会の名誉総裁であらせられる高円宮憲仁親王妃久子殿下から当社代表取締役社長 烏田克彦に対して感謝状および名誉総裁盾が授与されました。今回は2018年に続き、3度目の受賞となりました。

公益社団法人日本水難救済会は、全国1,300カ所以上の救難所・支所に所属しているボランティア救助員約5万2千人を支援し、海の犠牲者ゼロを目指して活動を続けている団体であり、「青い羽根募金」は、救難所・救難支所におけるライフジャケット、ロープ等の救助資機材の整備や救助船の燃料等資機材の購入、訓練経費等に当てられ、ボランティア活動を支えています。

当社では、2003年度から社会貢献活動の一環として「青い羽根募金活動」に取り組んでおり、特に7月から8月にかけての「青い羽根募金強調運動期間」には、本社、支店、営業所、作業所等に青い羽根と募金箱を設置し、当社社員および協力会社の方々と共に募金活動に協力しております。また、青い羽根募金支援自販機の設置を推奨し、同自販機からの飲み物売上金の一部を青い羽根募金として寄附しています。

当社は海上工事に携わるものとして、海上での安全を祈願し、今後もこの活動への協力を続けていきます。



表彰式 記念撮影



感謝状



募金活動



支援自販機の利用